

一般社団法人 日本写真測量学会

第 6 3 回定時総会

【日時】 令和 6 年 5 月 23 日（木） 16：20～

【場所】 東京大学生産技術研究所 An 棟 2 階 コンベンションホール
〒153-8505 東京都目黒区駒場 4-6-1

【議案】

- | | |
|---------|------------------|
| 第 1 号議案 | 令和 5 年度事業報告 |
| 第 2 号議案 | 令和 5 年度収支決算・監査報告 |
| 第 3 号議案 | 令和 6 年度事業計画 |
| 第 4 号議案 | 表彰 |
| 第 5 号議案 | 役員改選 |

令和5年度 事業報告書

第1号議案

I. 会員数	(令和5年度末)	(令和4年度末)
正会員	1076	1074
団体会員	19	19
学生会員	68	69
海外会員	3	3
名誉会員	6	7
特別会員	56 (76口)	53 (73口)

II. 事業に関する事項

(1) 学会誌の発行

- 学会誌「写真測量とリモートセンシング」を下記のとおり発行した。

<発行年月日>	<巻 号>	<発行部数>
令和5年 5月12日	62巻 2号	1340部
令和5年 7月10日	62巻 3号	1320部
令和5年 9月11日	62巻 4号	1335部
令和5年11月10日	62巻 5号	1330部
令和6年 1月10日	62巻 6号	1330部
令和6年 3月11日	63巻 1号	1380部

- 北海道支部 会報43号を発行した。

(2) 学術講演会・特別講演会・特別セッションの開催

① 年次学術講演会、特別セッションを下記の通り行った。

日時 令和5年5月18日、19日 ※オンラインと現地とのハイブリッド形式で開催
 場所 東京大学生産技術研究所
 参加者数 206名 講演数 46編
 特別セッション：「本学会の国際戦略を考える（1）国際学会とは？」

② 秋季学術講演会、特別講演会、特別セッション、巡検を下記の通り行った。

日時 令和5年11月16日、17日 ※オンラインと現地とのハイブリッド形式で開催
 場所 岩手県盛岡市 岩手教育会館
 参加者数 242名 講演数 69編
 特別講演：「東日本大震災からの復興と未来への備え」 講師：南正昭氏（岩手大学教授）
 特別セッション：「本学会の国際戦略を考える（2）国際学会のメリット」
 巡検：龍泉洞、震災遺構たろう観光ホテルなど 参加者数27名

③ 支部において学術講演会・特別講演会を下記の通り行った。

- 北海道支部：特別講演会2回（6月23日、11月22日）合計参加者数148名
 学術講演会1回（3月18日） 参加者57名
- 北信越支部：特別講演会1回（7月28日）
- 関西支部：特別講演会1回（6月30日）

(3) 関連する調査、研究および資料の収集

- テストフィールド運営委員会にて引き続きテストフィールド維持管理のための広報活動を行った。

(4) シンポジウム、セミナー等の開催

- G空間EXPO（11月1日～12月10日開催）において、以下のシンポジウムをオンデマンド配信で実施した。
 「我が国の地球観測グランドデザインと基幹衛星の将来計画」講演発表者：8名、視聴数：432回
- 北信越支部 空間情報セミナー5回（5月26日、7月28日、9月22日、11月24日、1月26日）

- 関西支部 テクニカルセミナー6回 (4月28日、6月30日、8月18日、10月27日、
12月1日、2月9日) 合計参加者数203名
若手技術者・研究者による技術研究発表会1回(9月8日) 参加者数39名

(5) 講習会の開催

- 手持ちレーザスキャナ (SLAM) 講習会を行った。
日時 令和5年7月7日
場所 東京大学生産技術研究所・大会議室 参加者数22名
- UAV レーザ&写真測量講習会(実習付)を行った。
日時 令和5年9月28日 ~29日
場所 ASITE 空間情報技術試験フィールド(静岡県御殿場市) 参加者数20名

(6) その他目的を達成するため必要な事業

- ① アジアリモートセンシング会議 (ACRS) の表彰事業 (JSPRS Award・Murai Award) への助成を行った。
- ② 対外協力委員会
 - ・2023年11月~12月に開催されたG空間EXPOでは、日本リモートセンシング学会との共同主催、地理情報システム学会との共催により、シンポジウム「我が国の地球観測グランドデザインと基幹衛星の将来計画」をオンデマンド配信で開催した。
 - ・昨年度に引き続き、今後の宇宙開発体制のあり方に関する「タスクフォース会合・リモートセンシング分科会」(TF)の幹事会および2つのワーキンググループ(地球科学研究高度化、実利用)が開催するイベント(公開シンポジウム「我が国の衛星地球観測に関する統合的戦略立案」、2023年9月12日開催)等に参加した。なお、我が国の地球観測の将来計画に関する緊急提言として、「次期光学ミッションコンセプト共創検討報告」が2023年5月23日に内閣府、文部科学省、経済産業省に提案された。
 - ・2024年2月5日に、経済産業省宇宙産業室と学会幹部で、双方の衛星データ利用推進の取組及び今後の連携について意見交換を行った。また、その後の連携活動として、2024年2月20日に経済産業省主催の「GEOINT 勉強会」での学会紹介、本年度学術講演会での特別セッション開催企画等を行った。
- ③ 国際協力委員会
 - ・委員会を5回開催し、各国際学会における各国および日本の参加状況の分析や、国際学会に貢献しうる中堅・若手人材へのサポート体制の検討を行った。
 - ・学術講演会で以下の特別セッションを開催した。
年次学術講演会 「本学会の国際戦略を考える(1)国際学会とは？」
秋季学術講演会 「本学会の国際戦略を考える(2)国際学会のメリット」
 - ・ACRS (アジアリモートセンシング会議)
第44回ACRSが台北市で開催された。学会としてJSPRS賞を4名に授与した。なお、村井賞は該当者無しとなった。第45回ACRSはスリランカで11月17日(日)~21日(木)に開催予定。
 - ・ISPRS GSW 報告
ISPRS Geospatial Week 2023が9月にカイロで開催された。次回は、2025年2月16日~21日にドバイにて開催予定。
- ④ UAV 安全基準策定委員会
UAVの有視界外飛行が、ルールなどが整備されUAVの国家免許制度が始まり、いわゆるレベル4の運用が始まったが、その実情は整備、機体の認証など不透明な部分もまだ多い状態である。必要に応じて『測量調査を目的とした小型無人航空機を安全に運航するための手引き』の再改訂を含んだ対応をしていくことを確認した。ようやくFAAの有視界外のUAV飛行のルールが制定される見込みで、FAAのルールが確定した段階で我が国のルールにも反映されと考えられるため、次年度は米国の動きにも注意を払いながら活動を進めていく予定である。
- ⑤ 会員へのCPD活動を行った。
 1. 学会誌購読 5P
 2. 講習会受講 1P/h
 3. 講習会講師 3P/h
 4. 口頭発表(学術講演会) 2P/件
 5. 原著論文執筆・・・単著・筆頭5P/件、共著者2P/件
 6. 学協会活動等による社会・業界への貢献等

⑥ 学会賞・学術講演会論文賞等の表彰を行った。令和5年度の表彰は以下の通りであった。

- ・特賞（3名）近津博文氏、鹿田正昭氏、瀬戸島政博氏
- ・功労賞（1名）齋藤元也氏
- ・学会賞（1名）菌部礼氏
- ・学会奨励賞（2名）姜文淵氏、竹内祐太朗氏
- ・永年会員表彰（32名）
- ・学術講演会論文賞

年次学術講演会 論文賞（4名）：小林健氏、齋藤一葉氏、笹岡南斗氏、宇田航希氏

秋季学術講演会 論文賞（5名）：田中優也氏、小森惇也氏、中島健登氏、金居新大氏、岡田典也氏

⑦ 学会の公式ホームページの維持・更新を行った。

Ⅲ. 処務の概要について

（1）役員等に関する事項

令和5年度末現在

職名	常勤・非常勤	氏 名	就任(重任)年月日	担当職務	報酬	現職
会長	非常勤	清水 英範	令和4年5月19日	業務の総括	なし	日本測量協会
副会長	非常勤	長 幸平	令和4年5月19日	国際関連	なし	東海大学
同	非常勤	赤松 幸生	令和4年5月19日	渉外	なし	国際航業
常務理事	非常勤	織田 和夫	令和4年5月19日	編集	なし	アジア航測
同	非常勤	高木 方隆	令和4年5月19日	企画	なし	高知工科大学
同	非常勤	本多 嘉明	令和4年5月19日	部会	なし	千葉大学
同	非常勤	吉村 充則	令和4年5月19日	講習会	なし	日本大学
理事	非常勤	今井 靖晃	令和4年5月19日	財務	なし	国際航業
同	非常勤	大谷 仁志	令和4年5月19日	講習会	なし	コパコン
同	非常勤	小川 健太	令和4年5月19日	講習会	なし	酪農学園大学
同	非常勤	國井 洋一	令和4年5月19日	企画	なし	東京農業大学
同	非常勤	須崎 純一	令和4年5月19日	部会	なし	京都大学
同	非常勤	竹内 渉	令和4年5月19日	渉外	なし	東京大学
同	非常勤	橘 菊生	令和4年5月19日	企画	なし	パスコ
同	非常勤	津留 宏介	令和4年5月19日	企画	なし	アイちず創製
同	非常勤	徳永 光晴	令和4年5月19日	講習会	なし	金沢工業大学
同	非常勤	中川 雅史	令和4年5月19日	学術講演会	なし	芝浦工業大学
同	非常勤	中舎 哉	令和4年5月19日	企画	なし	中日本航空
同	非常勤	中野 一也	令和4年5月19日	学術講演会	なし	金沢工業大学
同	非常勤	布施 孝志	令和4年5月19日	事務局長	なし	東京大学
監事	非常勤	熊谷 樹一郎	令和4年5月19日	監査	なし	摂南大学
同	非常勤	武田 浩志	令和4年5月19日	監査	なし	国際航業
同	非常勤	新名 恭仁	令和4年5月19日	監査	なし	アジア航測

（2）職員に関する事項

職名	常勤・非常勤	氏名	担当事務	備考
事務局長	非常勤	布施 孝志	業務の総轄	東京大学
職員	常勤	岩下 典子	編集・庶務・会計	

(3) 会議等に関する事項

① 総会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和5年5月18日 16:40-18:00 東京大学 生産技術研究所 An棟2階コンベンション ホール	総会出席者（正会員） 654名（委任状による出席含む） 1. 令和4年度事業報告・収支決算報告・監事監査報告について 2. 令和5年度事業計画について 3. 名誉会員の推挙 4. 令和5年度表彰；特賞、功労賞、学会賞、学会奨励賞授賞の報告・表彰、永年継続会員の報告・表彰	承認 報告 承認 報告

② 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和5年5月2日	1. 令和4年度事業報告及び収支決算報告について 2. 会員の入会・退会の承認 3. 表彰委員会より 4. 各委員会より	承認 承認 報告 報告
令和5年11月16日	1. 来年度の秋季学術講演会開催地について 2. 対外協力委員会活動報告 3. 国際協力委員会活動報告 4. その他委員会より	報告 報告 報告 報告
令和6年3月12日	1. 令和6年度事業計画案について 2. 令和6年度収支予算案について 3. 永年会員表彰について 4. 各委員会、各支部からの報告	承認 承認 報告 報告

③ 編集委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和5年5月15日	1. 新委員の紹介 2. Vol. 62 No. 3の編集について 3. 新論文の査読者の選定について 4. 小特集企画・巻頭言執筆候補者について	確認 検討・確認 討議・確認 討議・確認
令和5年7月13日	1. Vol. 62 No. 4の編集について 2. 新論文の査読者の選定について 3. 小特集企画・巻頭言執筆候補者について	検討・確認 討議・確認 討議・確認
令和5年9月14日	1. Vol. 62 No. 5の編集について 2. 新論文の査読者の選定について 3. 小特集企画・巻頭言執筆候補者について	検討・確認 討議・確認 討議・確認
令和5年11月9日	1. Vol. 62 No. 6の編集について 2. 新論文の査読者の選定について 3. 小特集企画・巻頭言執筆候補者について 4. 次年度の表紙について	検討・確認 討議・確認 討議・確認 検討
令和6年1月11日	1. Vol. 63 No. 1の編集について 2. 新論文の査読者の選定について 3. 小特集企画・巻頭言執筆候補者について 4. Vol. 63の表紙について	検討・確認 討議・確認 討議・確認 決定
令和6年3月15日	1. Vol. 63 No. 2の編集について 2. 新論文の査読者の選定について 3. 小特集企画・巻頭言執筆候補者について 4. 学会賞・学会奨励賞の推薦者について	検討・確認 討議・確認 討議・確認 討議・決定

④学術講演会実行委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和5年5月19日	1. 年次学術講演会の運営について	確認
令和5年8月30日	2. 秋季学術講演会に向けてのスケジュールについて	確認
	1. 秋季学術講演会の開催方法・概要・準備について	確認
	2. 秋季学術講演会プログラム編成と司会・審査者の選定	確認
	3. 秋季学術講演会の特別セッションについて	確認
	4. 来年度の秋季学術講演会開催地について	検討
令和5年11月17日	1. 秋季学術講演会の運営の振り返りについて	確認
	2. 年次学術講演会(5/23-24)の準備について	確認
令和6年3月7日	1. 年次学術講演会の概要・準備について	確認
	2. 年次学術講演会プログラム編成と司会・審査者の選定	確認
	3. 年次学術講演会の特別セッション、企業展示について	確認
	4. 秋季学術講演会の準備状況について	確認

⑤ テストフィールド運営委員会：令和5年度は開催なし

⑥表彰委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和6年3月15日	1. 令和6年度表彰について 特賞：該当者なし 功労賞：島村秀樹氏、土居原健氏、井上三男氏 学会賞：該当者なし、学会奨励賞：該当者なし	選考・推薦・決定

⑦国際協力委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和5年4月25日	1. 国際会議についてのアンケート結果報告	確認
	2. 年次学術講演会・特別セッション企画について	検討・確認
	3. 国際会議の動向について	確認
令和5年6月6日	1. 年次学術講演会・特別セッションの資料公開について	確認
	2. 秋季学術講演会・特別セッション企画について	検討・確認
	3. 国際会議の動向について	確認
令和5年9月19日	1. 秋季学術講演会・特別セッション企画について	確認
	2. ACRSの準備状況について	確認
	3. ISPRS GSW 報告	確認
令和5年11月15日	1. 秋季学術講演会・特別セッションの最終確認	確認
	2. ACRS 報告	確認

⑧文献抄録委員会

開催月日（すべてE-mail 会議）	議事事項	会議の結果
令和5年4月3日～4月14日	学会誌 vol. 62 no. 2 向け文献抄録本・論文の検討	検討・確認
令和5年6月1日～6月16日	学会誌 vol. 62 no. 3 向け文献抄録本・論文の検討	検討・確認
令和5年8月3日～8月22日	学会誌 vol. 62 no. 4 向け文献抄録本・論文の検討	検討・確認
令和5年9月30日～10月19日	学会誌 vol. 62 no. 5 向け文献抄録本・論文の検討	検討・確認
令和5年11月29日～12月13日	学会誌 vol. 62 no. 6 向け文献抄録本・論文の検討	検討・確認
令和6年2月2日～2月20日	学会誌 vol. 63 no. 1 向け文献抄録本・論文の検討	検討・確認
令和6年3月4日～3月7日	委員1名交代	メール審議（全員賛成）
令和6年3月18日	長期実施履歴の共有	検討・確認

(4) 許可、認可、承認、証明等に関する事項

特記事項なし

(5) 契約に関する事項

契約年月日	契約相手方	契約の概要
令和5年4月～令和6年3月	昭和情報プロセス(株)	学会誌の印刷(年6回)

<追記>

(令和5年度事業報告の附属明細書について)

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する事業報告の附属明細書として記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

一般社団法人日本写真測量学会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	5,083,808	6,009,162	△ 925,354
預金	67,621	89,610	△ 21,989
普通預金	1,046,900	3,827,871	△ 2,780,971
通常預貯金	3,969,287	2,091,681	1,877,606
未収金	278,000	282,000	△ 4,000
未卸収金	144,508	173,276	△ 28,768
未収入金	246,322	748,020	△ 501,698
流動資産合計	5,752,638	7,212,458	△ 1,459,820
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産引当預金	44,540	44,540	0
投資有価証券	34,166,697	34,166,697	0
基本財産合計	34,211,237	34,211,237	0
(2) 特定資産			
京都国際会議特定預金	11,536,785	11,385,098	151,687
国際学会関連特定預金	606,234	1,213,283	△ 607,049
投資有価証券	17,091,905	17,091,905	0
特定資産合計	29,234,924	29,690,286	△ 455,362
(3) その他固定資産			
建物附属設備	110,000	110,000	0
減価償却累計額	△ 21,495	△ 14,125	△ 7,370
電話加入権	57,092	57,092	0
その他固定資産合計	145,597	152,967	△ 7,370
固定資産合計	63,591,758	64,054,490	△ 462,732
資産合計	69,344,396	71,266,948	△ 1,922,552
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	149,814	923,104	△ 773,290
未前受金	97,000	138,000	△ 41,000
前受金	84,000	149,000	△ 65,000
預り金	14,520	12,600	1,920
未払法人税等	304,500	697,500	△ 393,000
流動負債合計	649,834	1,920,204	△ 1,270,370
負債合計	649,834	1,920,204	△ 1,270,370
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	34,000,000	34,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(34,000,000)	(34,000,000)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	34,694,562	35,346,744	△ 652,182
(うち基本財産への充当額)	(211,237)	(211,237)	0
(うち特定資産への充当額)	(29,234,924)	(29,690,286)	△ 455,362
正味財産合計	68,694,562	69,346,744	△ 652,182
負債及び正味財産合計	69,344,396	71,266,948	△ 1,922,552

正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

一般社団法人日本写真測量学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	《 86,380 》	《 86,380 》	《 0 》
基本財産受取利息	86,380	86,380	0
特定資産運用益	《 65,314 》	《 72,939 》	《 △ 7,625 》
特定資産受取利息	65,314	72,939	△ 7,625
受取会費	《 10,481,000 》	《 10,308,000 》	《 173,000 》
正学生会員受取会費	7,791,000	7,763,000	28,000
学生会員受取会費	380,000	295,000	85,000
事業収入	《 2,310,000 》	《 2,250,000 》	《 60,000 》
受取学術講演会誌	《 5,092,924 》	《 7,150,780 》	《 △ 2,057,856 》
受取出版物	979,800	3,729,900	△ 2,750,100
受取出版物	2,416,800	1,429,280	987,520
受取出版物	93,324	20,900	72,424
受取講習会料	1,174,000	1,009,000	165,000
受取テストフィード	429,000	918,500	△ 489,500
受取テストフィード	0	43,200	△ 43,200
雑収入	《 1,676,082 》	《 1,756,751 》	《 △ 80,669 》
雑収入	25	34	△ 9
雑収入	1,237,500	673,200	564,300
雑収入	438,557	1,083,517	△ 644,960
経常収益計	17,401,700	19,374,850	△ 1,973,150
(2) 経常費用			
事業費	《 13,729,523 》	《 15,186,308 》	《 △ 1,456,785 》
学会誌発行事業費	(4,444,479)	(7,536,547)	(△ 3,092,068)
通信印刷製本費	444,507	690,153	△ 245,646
印刷製本費	3,585,245	6,445,003	△ 2,859,758
印刷製本費	414,727	401,391	13,336
学術講演会連費	(2,954,813)	(1,623,594)	(1,331,219)
出版物関係連費	(39,660)	(12,960)	(26,700)
出版講習会連費	(1,022,059)	(944,367)	(77,692)
テストフィード費	(0)	(68,706)	(△ 68,706)
その他の事業費	(5,268,512)	(5,000,134)	(268,378)
給法旅通消国保表印雑	2,590,000	2,443,000	147,000
給法旅通消国保表印雑	483,636	467,194	16,442
給法旅通消国保表印雑	153,804	153,804	0
給法旅通消国保表印雑	483,189	520,991	△ 37,802
給法旅通消国保表印雑	74,145	59,758	14,387
給法旅通消国保表印雑	606,506	559,957	46,549
給法旅通消国保表印雑	279,202	261,077	18,125
給法旅通消国保表印雑	234,616	200,340	34,276
給法旅通消国保表印雑	244,456	202,033	42,423
給法旅通消国保表印雑	118,958	131,980	△ 13,022
管 理 費	《 4,324,359 》	《 4,728,780 》	《 △ 404,421 》
管 理 費	1,110,000	1,047,000	63,000
管 理 費	178,048	177,043	1,005
管 理 費	65,916	65,916	0
管 理 費	204,464	220,330	△ 15,866
管 理 費	31,379	23,860	7,519
管 理 費	39,607	22,952	16,655
管 理 費	1,320,000	1,320,000	0
管 理 費	0	12,250	△ 12,250
管 理 費	304,500	697,500	△ 393,000
管 理 費	7,370	7,370	0
管 理 費	119,658	111,893	7,765
管 理 費	660,000	726,000	△ 66,000
管 理 費	283,417	296,666	△ 13,249
経常費用計	18,053,882	19,915,088	△ 1,861,206
当期経常増減額	△ 652,182	△ 540,238	△ 111,944

2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固 定 資 産 除 却 損	0	0	0
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 652,182	△ 540,238	△ 111,944
一般正味財産期首残高	35,346,744	35,886,982	△ 540,238
一般正味財産期末残高	34,694,562	35,346,744	△ 652,182
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	34,000,000	34,000,000	0
指定正味財産期末残高	34,000,000	34,000,000	0
III 正味財産期末残高	68,694,562	69,346,744	△ 652,182

財 産 目 録

令和 6年 3月31日現在

一般社団法人日本写真測量学会

(単位：円)

科 目		金 額		
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金	預金	67,621		
現当普	座通			
三三	菱井	548,158		
通	U住	498,742		
文白	F春			
扇	J日	3,262,681		
未	郵西	416,138		
	丘	290,468		
	会			
正学	生別	273,000		
特	会	5,000		
棚未	卸収	0		
	未掲	144,508		
	収載			
	還料	133,937		
	付等	112,385		
	流動資産合計		5,752,638	
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
基本財産	引当預金	44,540		
三三	菱井			
投資	有価証券			
第3	41	34,166,697		
	基本財産合計	34,211,237		
(2) 特定資産				
京都国際	会議特定預金			
三三	菱井	11,536,785		
国際	学会関連特定預金			
三三	菱井	606,234		
投資	有価証券			
第3	59	11,085,470		
第1	82	6,006,435		
	特定資産合計	29,234,924		
(3) その他固定資産				
建物	附属設備	110,000		
減価	償却累計額	△ 21,495		
電話	加	57,092		
	その他固定資産合計	145,597		
	固定資産合計		63,591,758	
II 負債の部				
1. 流動負債				
未	払			
前	通	149,814		
前	信			
前	受	97,000		
預	約			
未	令和	84,000		
	り			
	源泉	14,520		
	法			
	期	304,500		
	確定			
	流動負債合計		649,834	
2. 固定負債				
	固定負債合計		0	
	負債合計			649,834
	正味財産			68,694,562

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

移動平均法による原価法

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

移動平均法による原価法

(3) 固定資産の減価償却の方法

建物附属設備：定額法

什器備品：定率法

(4) 消費税等の会計処理

税込方式

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産引当預金	44,540	0	0	44,540
投資有価証券	34,166,697	0	0	34,166,697
小 計	34,211,237	0	0	34,211,237
特定資産				
京都国際会議特定預金	11,385,098	151,687	0	11,536,785
国際学会関連特定預金	1,213,283	150,007	757,056	606,234
投資有価証券	17,091,905	0	0	17,091,905
小 計	29,690,286	301,694	757,056	29,234,924
合 計	63,901,523	301,694	757,056	63,446,161

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充 当額)	(うち一般正味 財産からの充 当額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
基本財産引当預金	44,540	44,540	0	—
投資有価証券	34,166,697	33,955,460	211,237	—
小 計	34,211,237	34,000,000	211,237	—
特定資産				
京都国際会議特定預金	11,536,785	0	11,536,785	0
国際学会関連特定預金	606,234	0	606,234	0
投資有価証券	17,091,905	0	17,091,905	0
小 計	29,234,924	0	29,234,924	0
合 計	63,446,161	34,000,000	29,446,161	0

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
国 債			
1. 基本財産			
利付国債（10年）第341回	34,166,697	34,088,400	△ 78,297
2. 特定資産			
利付国債（10年）第359回	11,085,470	10,792,100	△ 293,370
利付国債（20年）第182回	6,006,435	5,714,400	△ 292,035
合 計	51,258,602	50,594,900	△ 663,702

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載しているため、その内容を省略

収 支 計 算 書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

一般社団法人日本写真測量学会

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	《 90,000 》	《 86,380 》	《 3,620 》	
基本財産利息収入	90,000	86,380	3,620	
特定資産運用収入	《 40,000 》	《 65,314 》	《 △ 25,314 》	
特定資産利息収入	40,000	65,314	△ 25,314	
会費収入	《 10,030,000 》	《 10,481,000 》	《 △ 451,000 》	
正会員会費収入	7,560,000	7,791,000	△ 231,000	
学生会員会費収入	250,000	380,000	△ 130,000	
特別会員会費収入	2,220,000	2,310,000	△ 90,000	
事業収入	《 5,510,000 》	《 5,092,924 》	《 417,076 》	
学会誌収入	2,200,000	979,800	1,220,200	
学術講演会収入	1,550,000	2,416,800	△ 866,800	
出版物関連収入	100,000	93,324	6,676	
講習会収入	1,150,000	1,174,000	△ 24,000	
広告収入	430,000	429,000	1,000	
テストフィールド収入	30,000	0	30,000	
ソフトウェア収入	50,000	0	50,000	
雑収入	《 911,100 》	《 1,676,082 》	《 △ 764,982 》	
受取利息収入	1,100	25	1,075	
展示収入	800,000	1,237,500	△ 437,500	
雑収入	110,000	438,557	△ 328,557	
事業活動収入計	16,581,100	17,401,700	△ 820,600	
2. 事業活動支出				
事業費支出	《 12,920,100 》	《 13,700,755 》	《 △ 780,655 》	
学会誌発行事業費支出	(4,400,000)	(4,444,479)	(△ 44,479)	
通信運搬費支出	450,000	444,507	5,493	
印刷製本費支出	3,800,000	3,585,245	214,755	
雑支	150,000	414,727	△ 264,727	
学術講演会費支出	(1,810,000)	(2,954,813)	(△ 1,144,813)	
出版物関連費支出	(30,000)	(10,892)	(19,108)	
講習会費支出	(800,000)	(1,022,059)	(△ 222,059)	
テストフィールド費支出	(30,000)	(0)	(30,000)	
その他事業費支出	(5,850,100)	(5,268,512)	(581,588)	
給料手当支出	2,500,000	2,590,000	△ 90,000	
法定福利費支出	470,000	483,636	△ 13,636	
臨時雇賃金支出	10,000	0	10,000	
会議費支出	145,000	0	145,000	
旅費交通費支出	210,000	153,804	56,196	
通信運搬費支出	520,000	483,189	36,811	
消耗品費支出	85,000	74,145	10,855	
国際学会活動費支出	1,100,000	606,506	493,494	
保守料支出	280,000	279,202	798	
表彰関連費支出	200,000	234,616	△ 34,616	
印刷製本費支出	220,000	244,456	△ 24,456	
雑支	110,100	118,958	△ 8,858	
管理費支出	《 4,640,000 》	《 4,316,989 》	《 323,011 》	
給料手当支出	1,050,000	1,110,000	△ 60,000	
法定福利費支出	180,000	178,048	1,952	
旅費交通費支出	70,000	65,916	4,084	
通信運搬費支出	200,000	204,464	△ 4,464	
消耗品費支出	30,000	31,379	△ 1,379	
印刷製本費支出	30,000	39,607	△ 9,607	
賃借料支出	1,320,000	1,320,000	0	
租税公課支出	100,000	0	100,000	
法人税住民税等支出	460,000	304,500	155,500	
保守料支出	130,000	119,658	10,342	
支払報酬支出	770,000	660,000	110,000	
雑支	300,000	283,417	16,583	
事業活動支出計	17,560,100	18,017,744	△ 457,644	
事業活動収支差額	△ 979,000	△ 616,044	△ 362,956	

Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特 定 資 産 取 崩 収 入	《 1,100,000 》	《 757,056 》	《 342,944 》	
国際学会関連預金取崩収入	1,100,000	757,056	342,944	
京都国際会議特定預金取崩収入	0	0	0	
投 資 活 動 収 入 計	1,100,000	757,056	342,944	
2. 投資活動支出				
特 定 資 産 取 得 支 出	《 101,000 》	《 301,694 》	《 △ 200,694 》	
国際学会関連特定預金支出	1,000	150,007	△ 149,007	
京都国際会議特定預金支出	100,000	151,687	△ 51,687	
投 資 活 動 支 出 計	101,000	301,694	△ 200,694	
投 資 活 動 収 支 差 額	999,000	455,362	543,638	
当 期 収 支 差 額	20,000	△ 160,682	180,682	
前 期 繰 越 収 支 差 額		5,118,978	△ 5,118,978	
次 期 繰 越 収 支 差 額	20,000	4,958,296	△ 4,938,296	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収会費、前払金、未収入金、立替金、未払金、前受金、前受会費、預り金、未払法人税等を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金 預 金	6,009,162	5,083,808
未 収 会 費	282,000	278,000
未 収 入 金	748,020	246,322
合 計	7,039,182	5,608,130
未 払 金	923,104	149,814
前 受 金	138,000	97,000
前 受 会 費	149,000	84,000
預 り 金	12,600	14,520
未 払 法 人 税 等	697,500	304,500
合 計	1,920,204	649,834
次期繰越収支差額	5,118,978	4,958,296

令和6年4月30日

監査報告

一般社団法人 日本写真測量学会

監事 熊谷樹一郎 

監事

監事

令和5年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により、監査方針を定めた上で、監事 熊谷樹一郎は実施事業会計を中心に、監事 武田浩志はその他会計を中心に、監事 新名恭仁は法人会計の分野を中心に調査を行い、その結果を監事間で協議して、監査を実施しました。

具体的には、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求めました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。

以 上

令和6年4月30日

監 査 報 告

一般社団法人 日本写真測量学会

監事

監事

武田 浩志 (印)

監事

令和5年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により、監査方針を定めた上で、監事 熊谷樹一郎は実施事業会計を中心に、監事 武田浩志はその他会計を中心に、監事 新名恭仁は法人会計の分野を中心に調査を行い、その結果を監事間で協議して、監査を実施しました。

具体的には、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求めました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。

以 上

令和6年4月30日

監 査 報 告

一般社団法人 日本写真測量学会

監事

監事

監事

新名恭仁 

令和5年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により、監査方針を定めた上で、監事 熊谷樹一郎は実施事業会計を中心に、監事 武田浩志はその他会計を中心に、監事 新名恭仁は法人会計の分野を中心に調査を行い、その結果を監事間で協議して、監査を実施しました。

具体的には、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求めました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。

以 上

I. 事業に関する事項

① 学会誌の発行

- ・学会誌「写真測量とリモートセンシング」を下記のとおり発行する。

発行年月日	巻 号	発行部数
令和6年 5月10日	63巻2号	1320部
令和6年 7月10日	63巻3号	1320部
令和6年 9月10日	63巻4号	1320部
令和6年11月11日	63巻5号	1320部
令和7年 1月10日	63巻6号	1320部
令和7年 3月10日	64巻1号	1320部

- ・会報誌を年1回発行する。(北海道支部)

② 学術講演会・特別講演会の開催

- ・年次学術講演会を下記のとおり行う。

【日時】 令和6年5月23～24日

【場所】 東京大学生産技術研究所 An棟 コンベンションホール・大会議室

〒153-8505 東京都目黒区駒場4-6-1

参加予定者数 200名 講演数40編

※第63回定時総会は、5月23日(木) 16:20～/ハイブリッド方式にて開催

- ・秋季学術講演会を下記のとおり行う。

【日時】 令和6年11月14日～15日

【場所】 愛媛県松山市「松山市男女共同参画推進センター」

〒790-0003 愛媛県松山市三番町6丁目4番地20

参加予定者数 200名 講演数60編(予定)

- ・支部において特別講演会・学術講演会、セミナー等を行う。

○ 北海道支部：特別講演会2回(6月・10月)、学術講演会1回(3月)

○ 北信越支部：空間情報セミナー3回、特別講演会1回

○ 関西支部：テクニカルセミナー5回(うち1回は特別講演会)、技術研究発表会1回(9月)

③ 関連する調査、研究および資料の収集

- ・テストフィールド運営委員会にて、引き続きテストフィールドの維持管理を実施する。

④ シンポジウム、セミナー等の開催

- ・「測量・地理空間情報イノベーション大会」において、測量サミットに参加予定。

⑤ 講習会の開催

- ・手持ちレーザスキャナ講習会(7月5日)

- ・UAV レーザ写真測量講習会(9月18～19日)

- ・関西支部：講習会1回(8月30日)

- ⑥ その他目的を達成するため必要な事業
- ・ ISPRS 国際活動への協力を行う
 - ・ ACRS (アジアリモートセンシング会議) への協力 (JSPRS Award・Murai Award) を行う
 - ・ 他学協会・機関との対外交流のため、対外協力委員会の活動を継続して行う。
 - ・ ISPRS、ISRS (International Symposium on Remote Sensing) 等の国際学会への取り組みや人材育成を図るため、国際協力委員会の活動を継続して行う。
 - ・ 会員のCPD活動の支援を行う。
 1. 学会誌購読 5P
 2. 講習会受講 1P/h
 3. 講習会講師 3P/h
 4. 口頭発表 (学術講演会) 2P/件
 5. 原著論文執筆・・・単著・筆頭5P/件、共著者2P/件
 6. 学協会活動による社会・業界への貢献等 (ポイント数は活動内容による)
 - ・ 特賞・功労賞・学会賞・奨励賞・永年会員・学術講演会論文賞等の表彰を行う。
 - ・ 学会 Web の更新 (学術講演会・論文システムの更新他) を行う。

II. 処務の概要

① 会議等に関する事項

- (1) 常務理事会・・・・・・・・・・2回 (令和6年4月30日・令和7年3月)
- (2) 理事会・・・・・・・・・・4回 (令和6年4月30日・5月23日 (総会后) 11月14日・令和7年3月)
- (3) 評議員会・・・・・・・・・・1回 (令和6年・開催月は未定)
- (4) 総会・・・・・・・・・・1回 (第63回定時総会: 令和6年5月23日)
支部総会・・・・・・・・・・各1回 (令和6年6月 (北海道・北信越、関西))
- (5) 編集委員会・・・・・・・・・・6回 (令和6年5月・7月・9月・11月・令和7年1月・3月)
- (6) 学術講演会実行委員会・・・・4回 (令和6年5月24日・8月・11月15日・令和7年3月)
- (7) 表彰委員会・・・・・・・・・・1回 (令和7年3月)
- (8) テストフィールド運営委員会・2回
- (9) 文献抄録委員会・・・・・・・・6回
- (10) 講習会実行委員会・・・・・・1回
- (11) 国際協力委員会・・・・・・・・5回
- (12) 対外協力委員会・・・・・・・・2回
- (13) UAV 安全基準策定委員会・・3回

- ② 許可、認可、承認、証明等に関する事項
特になし

以 上

令和6年5月23日

日本写真測量学会 令和6年度学会各賞の受賞者

会長 清水英範

表彰委員会及び理事会での審議の結果、令和6年度学会各賞の受賞者を以下の通り決定いたしました。なお、授賞理由として、表彰状に記す文章を添えさせていただきます。

【特賞・功労賞・学会賞・学会奨励賞 受賞者】

■ 特賞： なし

■ 功労賞（3名）：

島村 秀樹 氏

貴殿は長きにわたり 本学会会員として写真測量とリモートセンシングの研究開発に尽力し 我が国のこの分野の発展に貢献されました また 本学会の産業界との連携強化など 本学会の活動の推進に大きく寄与されました

ここに貴殿の功績を讃え 日本写真測量学会功労賞を授与いたします

土居原 健 氏

貴殿は長きにわたり 本学会会員として写真測量とリモートセンシングの研究開発に尽力し 我が国のこの分野の発展に貢献されました また 編集委員会の委員等として 本学会の活動の推進に大きく寄与されました

ここに貴殿の功績を讃え 日本写真測量学会功労賞を授与いたします

井上 三男 氏

貴殿は長きにわたり 本学会並びに関連学協会の会員として我が国の測量分野の発展に貢献されました また テストフィールド運営委員会の創設と運営に尽力するなど 本学会の活動の推進に大きく寄与されました

ここに貴殿の功績を讃え 日本写真測量学会功労賞を授与いたします

■ 学会賞：なし

■ 学会奨励賞：なし

【永年会員表彰者】

● 50年会員（3名）

青島 正和氏 太田 守重氏 渡邊 好弘氏

● 40年会員（2名）

赤松 幸生氏 江田 久嗣氏

● 30年会員（6名）

大塚 孝治氏 佐野 直樹氏 島 馨 氏 辻子 裕二氏 松岡 真如氏
横山 大氏

以 上